

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 資本論 | 資本論 (14)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

### 資本論 (14)

資本主義経済のなかでは、すべての企業の利益率が下がっていく運命にある。しかし、その運命に逆らって、利益を増やしていくことができる方法が2つある。

利益率を式で表すと、「利益率=利益÷かかった費用」である。

これをマルクス流に置き換えると、「利益率=剰余価値÷(原材料+機械設備費用+労働者の給料)」である。

利益率を上げるためには、「分母が減る(生産コストを下げる)」か、「分子を増やす(剰余価値を上げる)」かのどちらかである。

#### ①分母を減らす

- ・原材料、機械設備費用が安くなる
- ・労働者の給料が安くなる
- ・労働力の価値を強引に下げる

のいずれかである。

#### ②分子を増やす

- ・労働者を長時間労働させる
- ・イノベーションを起こし、労働者の生産性を高めることである。

しかし、これらの先には何が待っているのかを知らねばならない。

- ・原材料、機械設備費用が安くなればよい
- ・労働者の給料が安くなればよい
- ・労働力の価値を強引に下げればよい
- ・労働者を長時間労働させればよい
- ・イノベーションを起こし、労働者の生産性を高めればよい

これらが限界を超えたときには、一気に水があふれて問題が顕在化するだろう。

これらのカンフル剤がなくなった瞬間、企業の問題が明らかになり、膨大な固定費を抱え、利益がほとんどでなくなるだろう。

その後には、大規模なリストラか、それとも企業の倒産が待っている。

#### 利益を上げる2つの方法

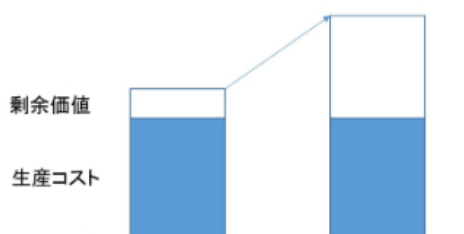
##### ①生産コストを下げて利益を生む



##### コストダウン

- ・原材料
- ・機械設備
- ・労働者の給料
- ・労働価値(生産コスト)を下げる

##### ②剰余価値を上げて利益を生む



##### 剰余価値アップ

- ・長時間労働
- ・生産性を上げる

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

📄 サイトマップ 📄 このサイトについて 📄 個人情報保護の取組みについて

📄 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.